

米国血管外科学会 (Society for Vascular Surgery) の不思議
Report from Vascular Annual Meeting 2018 in Boston

兵庫医科大学心臓血管外科
日本血管外科学会評議員・国際委員
米国血管外科学会員・2017-2018年度米国血管外科学会国際関連委員
山村光弘

Q1 なぜ“American” Society for Vascular Surgery ではないの？

A1 1947年設立当時は米国しか血管外科学会はなかったのので，“American” Society for Vascular Surgery と命名する必要がなかったからです。また米国血管外科学会総会は、本学会ホームページ 米国血管外科学会 2015・2017参加報告に記載したように、Vascular Annual Meeting (以下VAM) と表記されます <http://www.jsvs.org/ja/event/svsvascularannualmeeting/>。

なおカナダ血管外科学会 Canadian Society for Vascular Surgery は米国東部 New England Society for Vascular Surgery 等と同様に SVS 構成する地方会で、2020年度米国血管外科学会総会 (2020 VAM) はカナダ・トロント開催予定です。正確には SVS は“北米”血管外科学会と訳したほうがいいかもしれません。

Q2 SVS の日本支部はあるの？

A2 2014年やっと米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS ができました。今年5月の日本血管外科学会総会 (山形) でも、Clement R Daring III SVS 会長が来日され、引き続き SVS Japan Chapter Symposium が同時開催されました。

カナダに比べメキシコ血管外科学会は、ずっと蚊帳の外でやっと昨年米国血管外科学会メキシコ国際支部 Mexico Chapter of SVS ができました。米国血管外科学会中国大陸支部 China Chapter of SVS も昨年できましたが、ずっと以前より米国血管外科学会台湾支部 Taiwan Chapter of SVS があり並立しており、いかにも米国の中国に対する政治的立場を反映しているようです。もちろんドイツ語圏支部やイタリア支部はありますが、なぜか英国支部やフランス支部はありません。

米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS がある利点は、学会初日午後開催される International Chapter Forum にも応募できることです。もちろん口演の International Forum や35歳以下限定口演の International Fast Talk さらに今年からできた International Poster にも、SVS 会員同意なくても SVS 国際関連委員承認で応募できます。

Q3 米国血管外科学会国際関連委員会 SVS International Relation Committee は何をしているの？

A3 米国血管外科学会は、これも米国の国際政治的立場から、世界をリードする米国血管外科学会の立場と国内の血管外科医のための米国血管外科学会の立場

をとっています。よって米国血管外科学会国際関連委員会 SVS International Relation Committee は、委員長に Haimovici 第 6 版監修者で 2006 年会長の Enrico Ascher 教授のもとで、先に述べた学会初日の International Chapter Forum・International Forum・International Fast Talk さらに International Poster の全査読や座長運営を行い、初日限定の学会事務局兼ねています。

幸い山村は米国血管外科学会国際関連委員 Member of SVS International Relation Committee に選出されていたので、International Poster ポスター一座長 Moderator として良い経験をさせていただきました。

04 今年の状況は？

A4 今年は米国 Boston Hynes Convention Center, で、6月20日から23日の4日開催されました（プログラム表紙下記に示します）。参加費はSVS会員717ドル・非会員会費931ドルとさらに値上げされ高額でしたが、9名の日本人事前参加者がありました。

日本からの発表は学会1日目合計7名でした。まず International Forum では大分大学放射線科本郷先生と旭川医大三宅先生の2名が、International Chapter Forumでは名古屋大学古森教授が、International Fast Talkでは札幌手稲溪仁会病院丸山先生・名古屋大学藤井先生・千葉メデイカルセンター松下先生が3名発表され、International Poster では千葉旭中央病院金子先生が発表されました。

学会2日目以降 Plenary 口演では日本からの発表はありませんでしたが、学会2日目 Competition のない Interactive Poster では東京都済生会中央病院藤村先生と同じく千葉旭中央病院金子先生が発表されました。

学会3日目 Poster Competition では旭川医大菊地先生と千葉旭中央病院白須先生が発表されました。2日目以降の Plenary 口演や Interactive Poster・Poster Competition は米国内から応募が基本なので、日本からの発表はやはり学会初日が狙い目とくに今回新設された International Poster が今後もよき登龍門になると思います。

来年は6月12日から15日まで首都 Washington DC 近傍の Maryland 州 National Harbor で開催されますので（演題締切は例年年末年始）、引き続き日本からも多数の発表参加されること希望します。

利益相反 なし

連絡先

〒658-0082 西宮市武庫川町1番1号 兵庫医科大学心臓血管外科

電話 0798-45-6851

FAX 0798-45-6853

2018 VASCULAR ANNUAL MEETING

Home of the Vascular Team | Partners in Patient Care



SCIENTIFIC PROGRAM

JUNE 20-23, 2018

SCIENTIFIC SESSIONS: June 21-23

EXHIBITS: June 21-22

at the **HYNES CONVENTION CENTER**

VSweb.org/VAM18

All events held at the Hynes Convention Center
unless otherwise noted.

Download the
"Society for Vascular
Surgery" mobile
app from the Apple
App Store or
Google Play

SVS | Society for
Vascular Surgery